

全日本 F3 選手権 Rd.1/Rd.2 鈴鹿サーキット

RACE REPORT

<テスト走行>

今シーズン初の開幕戦の鈴鹿レースは、ドライコンディションでのプラクティスを迎えました。路面や天候も問題無く、万全の体制で臨める日となりました。今シーズンから F3 に参戦した根本選手は、いかにプラクティスで車両とコースに慣れてタイムを上げられるかがポイントになります。調整等もあり、タイムは振るわなかったようですが、予選に期待の持てる走りを見せてくれました。

<予選>

前日のプラクティスでは奮闘したものの、調整等もあり、予選では 12 番手でゴールインしました。天候は曇りで気温も問題なかったので決して悪いコンディションではなかったため、決勝に向けてマシン・選手共に最後の調整を行いました。

<決勝>

万全なコンディションでスタートした決勝、スタートを上手く決めた根本選手が 10 番手に浮上し、後続の選手と終始競り合いながらそのまま 10 番手チェッカーでレースを終えました。終始競り合っていた後続の選手に猛プッシュをかけられプレッシャーを与えられながらも、ポジションを守り抜きました。トータルのタイム的には厳しい結果となりましたが、今シーズン初の F3 という事もあり、今回の結果も踏まえて、次戦の期待が持てるレースでした。

<中村監督コメント>

2018 年度もいよいよシリーズが開幕致しました。

今回はまだ全てのものが決まった訳ではなく、手探り状態です。

根本選手も走行時間が限られた中精力的にセットアップを行いました。

今回の成績は、我々も満足はしておりません。

次戦菅生では、TOP6に入る努力をして参ります。

応援宜しくお願い致します。

